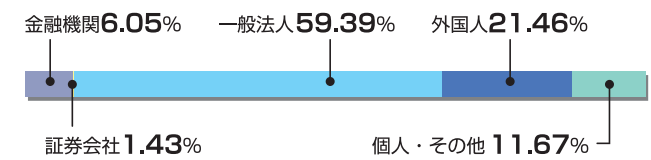


株式の概況 (2016年9月30日現在)

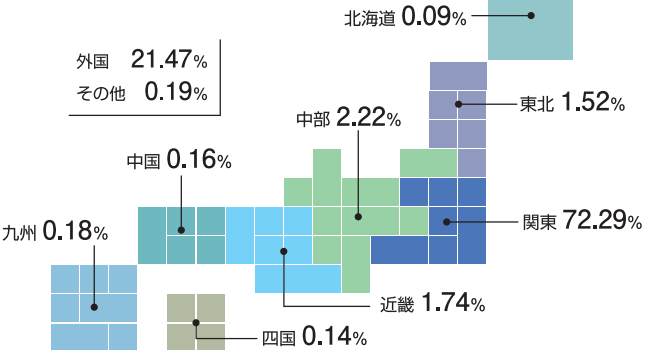
株式の状況



所有者別株式分布状況



地域別株式分布状況



大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
アルプス電気(株)	16,526	46.7
ビ・ビ・エィフォーファイティ・ロープライスストックファンド*	3,084	8.7
TDK(株)	2,804	7.9
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	914	2.6
アルパイン(株)	792	2.2

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

会社情報 (2016年9月30日 現在)

社名	株式会社アルプス物流 (証券コード 9055)
英文社名	ALPS LOGISTICS CO., LTD.
本社所在地	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1756
電話番号	045-531-4133 (代表)
設立	1964年7月2日
資本金	23億 4,904万円
社員数	(連結) 5,376名 (単独) 818名
運行車輛数	(連結) 3,135台 (単独) 623台
倉庫面積	(連結) 735,222m ² (単独) 249,808m ²

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 (連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第2部
公告方法	電子公告

【ご注意】・住所変更等のお手続きは、口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせ下さい。
・特別口座に記録された株式に関するお手続き、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

物流個性 ●ホームページURL <http://www.alps-logistics.jp/>
●IR情報URL <http://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>
お客様のための、最速物流を。

株式会社アルプス物流

2016年9月 第2四半期
IRレポート
2016年4月1日から2016年9月30日まで

株主の皆様へ

初冬の候、株主の皆様には、平素より格別
のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
今年度は、昨年までの円安が一転し、急速な
円高が進行する厳しい事業環境となりました。
このような中で、当社グループでは、本年度
より新たな中期経営計画をスタートしました。
「グローバル成長の加速」に向けて、国内外
の拠点・ネットワークの拡充を図るとともに、
新たな領域・市場への取組みを進めてきました。
新たな地域として、昨年のベトナムに続き、
本年4月にフィリピンへ拠点進出を行いました。
上期の業績につきましては、電子部品物流

事業を中心に夏場に掛けて売上、利益を拡大
し、前年同期比で増収増益を達成しました。
国内はもとより、海外でも現地通貨ベースで、
中国、東アジア、アセアン、欧米の全ての地域
で増収となりました。
下期の荷動きも堅調に推移しております
が、年明け以降は不透明な状況にあります。
引き続き、全社一丸となって、通期計画の達成
にまい進してまいります。
株主の皆様におかれましては、今後とも
一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い
申し上げます。



代表取締役社長

白居 賢

当第2四半期の連結業績実績及び通期予想

(単位：百万円、率：前年同期比増減)

2017年3月期 第2四半期累計（実績）		2017年3月期（予想）	
売上高	47,735 (4.2%)	売上高	94,500 (0.7%)
営業利益	2,392 (9.5%)	営業利益	4,900 (0.9%)
経常利益	2,337 (6.9%)	経常利益	4,950 (△2.3%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,329 (12.1%)	親会社株主に帰属する当期純利益	2,780 (1.4%)

連結業績の概況（2016年4月1日～2016年9月30日）



6月に移転・拡張した上海・松江倉庫

当社グループでは、本年度より新たな中期経営計画（2016～18年度）をスタートしました。この上期も中期方針の「グローバル成長の加速」を目指し、①売上拡大に向けた「新領域への挑戦」、②体質強化に向けた「現場革・進と基盤強化」、③サービス力や品質など「競争優位性の拡大」の3つの戦略のもとで、国内外のネットワークの拡充、新市場・新顧客への拡販活動や各事業の生産性の向上などに取組んでまいりました。上期の連結売上高は、前年同期比4.2%増収の477億円に、連結営業利益は、9.5%増益の23.9億円となりました。

▼電子部品物流セグメント

グローバル営業とネットワークの拡充を図り、売上・物量の拡大を推進しました。円ベースの売上高は円高により、1%の増収にとどまりましたが、国内の増収に加え、海外も現地通貨ベースでは2桁増となり、グローバルに事業の拡大が進みました。

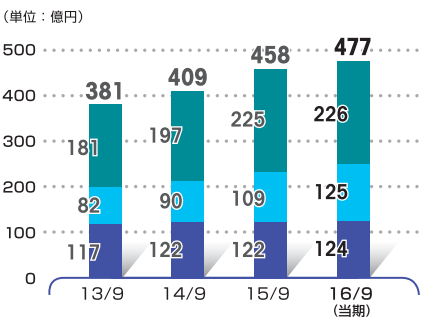
▼商品販売セグメント

顧客の車載関連の生産増に伴い、電子デバイスや成形材が売上に拡大したことにより、14%の増収となりました。

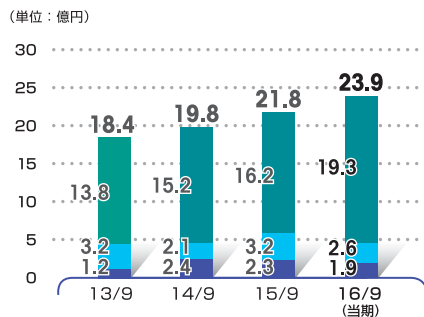
▼消費物流セグメント

消費物流の㈱流通サービスは、得意分野への事業集中を進め、生協の個配を中心に売上を伸ばし、2%の増収となりました。

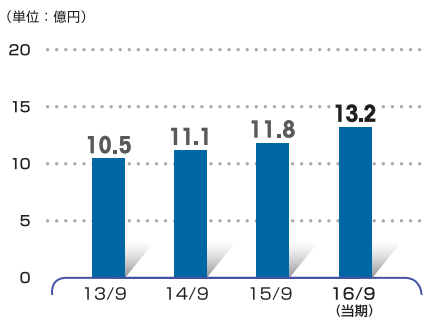
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期純利益

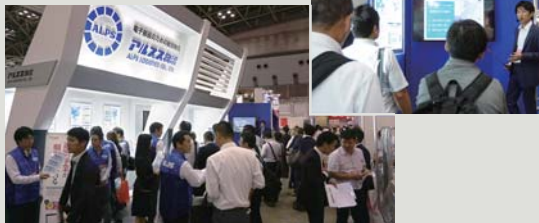


トピックス



「国際物流総合展2016」に出展

当社は、9月13日から16日の4日間、東京ビッグサイトで開催された「国際物流総合展2016」に初出展しました。国際物流総合展は、2年に1度開催されるアジア最大の物流・ロジスティクスの総合展示会です。ブース展示では、グローバルワンチャンネルサービス、中国でのアルプス特快便、保税物流、越境ECなどを紹介しました。またASEANの物流事情や事例をご紹介したセミナーにも多数ご参加いただきました。さまざまなソリューションの提案活動を、ビジネスの拡大につなげてまいります。



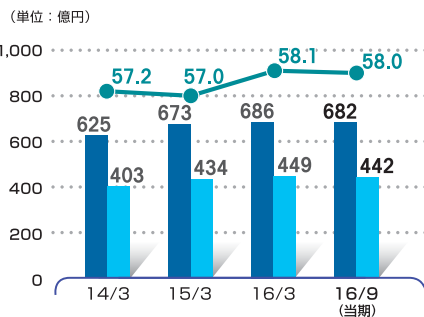
天津泰達アルプス物流が創立20周年

当社の中国現地法人第1号である「天津泰達アルプス物流」が創立20周年を迎えました。この8月には現地社員を中心に約130人が参加した記念イベントを開催しました。同社は、天津にて事業を開始し、現在は上海、大連、無錫など7支店の体制で運営しています。

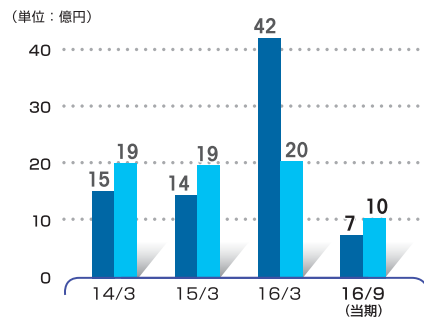


他の中国6現地法人と連携して、当社グループの海外事業の約7割を占める中国ビジネスを着実に拡大してまいりました。これまで20年にわたって培ってまいりました中国物流のノウハウを活用し、更なる成長に向けて、決意を新たに歩んでまいります。

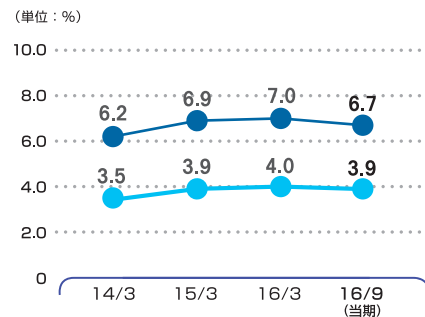
財政状況



設備投資・減価償却費



ROE・ROA



※16/9期は年率換算して算出しています。